

新学術 "宇宙の歴史をひもとく地下素粒子原子核研究" 内研究計画 B02
 (低バックグラウンド技術を応用した方向感度をもつ暗黒物質探索の基礎研究)

第12回若手研究会 2019年3月10日(日)-11日(月) 東北大学

参加者数：12名

参加機関：神戸大学、東京大学、東北大学、名古屋大学、早稲田大学

・ Program

東北大学金属材料研究室見学

3月10日(日) 17:00~		3月11日(月) 10:00~	
東北大学金属材料研究所見学		セッション 検出器紹介	
吉川研究室(金属材料研究所)紹介	黒澤 俊介 (東北大学)	A Path to the Direct Detection of sub-GeV Dark Matter Using Calorimetric Readout of a Superfluid 4He Target	早稲田大学 青山 一天
研究室見学	黒澤 俊介 (東北大学)	Directional detection of dark matter with two-dimensional targets	神戸大学 上野 龍一
		Direct detection of light dark matter and solar neutrinos via color center production in crystals	名古屋大学 轟 祈

第12回目となる今回のB02班若手研究会は「検出器特性」をテーマに掲げ、各々の研究に取まらない様々な検出器の特性理解から新たな知見の獲得するところを目的とした。1日目は東北大学金属材料研究所の黒澤准教授にご協力をいただき、東北大学金属研究所にて結晶製作の説明を受けた後、実際に開発が進められている「異方性のあるシンチレータ」の製作現場を見学した。2日目は各大学の学生が興味深い検出器の特性について学び、その特性理解の共有と議論を行った。学生間や学生と講演者との間に交流により、検出器特性を通して各人の物性物理への視野を広げることができた。

